東福保育園　　0歳児

年間テーマ	色
探求テーマ	ウォーターブロックに触れる

2025年　5月　19日（月）

子どもの姿	・気になる玩具のところに這い這いをして近づき、触ってみようとする。 ・音の出る玩具を振って鳴らしたり、しゃぶったりして感触を知る。
「問い」を考える	・ウォーターブロックに興味を持ってのぞいて見たり、触れようとするのか。
活動をデザインする	・ウォーターブロックに触れてみる。
環境をデザインする	・ライトテーブル、色水が入った玩具を用意する。 ・コンセントやコードには十分気をつけるようにする。
小グループを構成する	・保育士や友だちがいるところに近づき、置いてある玩具に触れてみようとする。
振り返り	赤、青、黄の三原色の色水だったので光に当たることで鮮やかに見え、のぞきこんで見てみたり、月齢の低い子は色水が揺れるのを目で追ったりしていた。一人ひとりの興味の持ち方、成長の差によって保育士のことばのかけ方や遊ばせ方を変え、これからもいろいろな玩具を通して色に触れて遊んでいきたい。

子どもの言葉・姿	写真
・ライトテーブルに電気がつき、這い這いで近づく。 ・たくさんのウォーターブロックがテーブルの上に置かれると手を伸ばして触る。 ・ライトテーブルに照らされた色水を見る。 ・保育士が持つウォーターブロックの色水が揺れているのに気がつき、目で追ったりする。 ・自分でウォーターブロックに触れ、持ち上げてみたり、ライトテーブルに当ててみたりする。 ・保育士がウォーターブロックを重ね、色が変わったことを見せるとのぞき込んだりしながらじっと見る。 ・保育士にウォーターブロックを顔に近づけてもらうと色水越しに周りを見たり、自分で持って顔に近づける。 ・保育士がウォーターブロックを積み重ねると手を伸ばして崩そうとする。 (低月齢児) ・半月のウォーターブロックを揺らすと色水が揺れてじっと見る。 ・目の前にある玩具に手を伸ばして触ろうとする。	